

# COVID-19 新興前に乳幼児便検体から分離検出されたアデノウイルスの型とその意義

なり あい あき よし  
成 相 昭 吉

キーワード：アデノウイルス，ウイルス分離，型，乳幼児，便

## 要 旨

コロナウイルス感染症2019 (COVID-19) 新興以前の2016年4月から2019年3月までに、乳幼児の便検体からアデノウイルス (AdV) が分離検出された31例 (月齢中央値10か月) を対象に、型と便から分離検出されることの臨床的意義について検討した。

AdV 種別型別と症例数は、C種2型 (AdVC2) が15例 (48%) と最多、以下C種1型 (AdVC1) 8例 (26%)、以下B種3型 (AdVB3) 6例 (19%)、C種5型 (AdVC5) 2例 (6%) であった。

消化器症状を認めた18例のうち12例には気道症状はなく、上記4つの型いずれかが分離検出されていた。しかし、気道症状を認め消化器症状のなかった6例からも、さらに消化器症状も気道症状も認めなかった7例からも4つの型のいずれかが検出されていた。

COVID-19 新興前、松江圏域乳幼児には上記4つの型が浸淫していたと考えられた。しかし、便からこれらが分離検出された症例であっても、臨床像の形成への関与については慎重な判断が必要と考えられた。

## はじめに

アデノウイルス (adenovirus, AdV) はエンベロープを持たないためエタノールで不活化できず、飛沫感染とともに手指を介した接触感染で伝播する。AdVにはAからGの7つの種に100を超える型があり、特定の型が特定の臓器に感染症

を引き起こす臓器指向性とその好発年齢がある<sup>1)</sup>。

乳幼児に急性呼吸器感染症を惹起するのはおもにC種の1型 (AdVC1) ・2型 (AdVC2) ・5型 (AdVC5) 型とB種3型 (AdVB3) で<sup>2)</sup>、ほとんどが3歳までに、おそくとも5歳までには感染し、初感染によって獲得された特異的中和抗体は感染防御的に働き生涯持続すると考えられている<sup>3)</sup>。また、C種AdVは乳幼児に初感染したあと数か月にわたって咽頭に潜在し、酸耐性があるため胃を通過し腸管から間欠的に便中に排泄され

Akiyoshi NARIAI

松江赤十字病院感染症科

連絡先：〒690-8506 島根県松江市母衣町200

松江赤十字病院感染症科